

カワセミ（カワセミ科） 全長 17センチ

釣り人で賑わう神宮寺の大浦沼。

毎年カワセミが観察されていたが、今年に入って初めて見つけることが出来ました。最下流の沼尻から流れ出す水路の中で、6羽のカワセミが餌探しに行ったり来たりしていたのです。3面がコンクリー製の水路で、あまり魚が棲めそうもない環境に見えます。

しかし、沼から流れ落ちる水流は栄養が豊かで、水温も丁度良いのでしょう。更に年数が経た水路は泥が堆積し、小魚が棲息する条件が整っていたのです。



水路の中を覗き込む、成鳥・メス。

カワセミにとって、沼尻の水門から下流域が狩場となっていました。

擁壁の縁に1羽2羽と現れ、眼下の流れに目を凝らしていた。流れは速くなく、水深も10センチ程です。小魚を狙うには丁度よい狩場です。狙いを定めて水中に飛び込みます。何回か繰り返しながら場所を変え、ついに魚をくわえてきました。



2羽の幼鳥が仲良く並んでくれました。



擁壁に付けられたアームで魚を狙っている。

3番目に現れたカワセミは、水路の中を横切りながら飛んでいきました。

続いて4番目、5番目の姿も次々に飛来。どうやら、一家族が移動しながら餌場にやって来たものでしょう。こんなに多くのカワセミを一か所で眺めたのは初めてです。

ついには6羽目も現れたことから、親が2羽、幼鳥が4羽という計算になります。カワセミファミリーの活動が、まだまだ続いてもらいたいところです。



ドジョウをつかまえ、得意顔。



ヨシの茎を水路にせり出すように刺し込んでいたら、早速使ってくれました。